

令和 6 年度（2024 年度）
ハッピー（8%）ごみ減量^{げん}プラン
～第 4 次豊中市ごみ減量計画～
事業等報告書 確定版

令和 7 年（2025 年） 月

豊中市 環境部 減量計画課

第 1 章 第 4 次豊中市ごみ減量計画の概要

(1) 計画の概要

第 4 次豊中市ごみ減量計画では、「廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」及び「第 4 次豊中市一般廃棄物処理基本計画」の理念をふまえ、具体的なごみ減量の取組み内容及び実施スケジュールを掲げています。

ごみ減量を進めるためには、物が生産、販売、消費され、廃棄、処理、資源化されるまでの一連の流れに関わるあらゆる人が、お互いを理解し、協力しながら減量行動を実践していく必要があります。このため、「第 4 次豊中市ごみ減量計画」では、行政の取組みだけでなく、市民や事業者に求められる役割と行動を示すほか、市民・事業者・行政の三者が連携して行う取組みを含めた内容となっています。

また、ごみ減量施策の進捗状況を分かりやすく伝えるため、事業の成果を測定する「モニター指標」を設定し、PDCAサイクルに基づく進行管理を行うこととしています。

(2) 計画期間

平成 30 年度（2018 年度）～令和 9 年度（2027 年度）

(3) 基本姿勢

ア 基本理念

協働で取り組む循環型社会の構築

イ 基本方針

循環型社会の構築に向けた取組みを進めます

ウ 基本施策

1. 廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクルの推進
2. 廃棄物の適正処理の推進
3. 美しいまちづくりの推進
4. 災害廃棄物の適正処理

(4) 減量目標

「ごみの焼却処理量を令和 9 年度（2027 年度）には平成 28 年度（2016 年度）実績より 8 %削減します」

第2章 ごみ減量計画の進捗状況

目標項目		平成 28 年度 (2016 年度) 基準年度	令和 5 年度 (2023 年度) 実績	令和 6 年度 (2024 年度) 実績	令和 9 年度 (2027 年度) 目標
減量目標	ごみの焼却処理量※A	103,584 t	95,569 t	93,084 t	95,281 t
個別の数値目標	家庭系ごみ 1 人 1 日 当たり量※B (再生資源除く。)	414g/人/日	387g/人/日	379g/人/日	394g/人/日
	家庭系ごみ量 (参考)	59,838 t	56,586 t	55,038 t	58,056 t
	事業系ごみ量※C (再生資源除く。)	43,099t	37,634t	36,711t	36,601t
	食品ロス 1 人 1 日当 たり量※D	H12 年度 基準年度 166g/人/日	107.1g/人/日	105.1g/人/日	必達目標 108.8g/人/日
					高位目標 94.7g/人/日
参考指標	リサイクル率※E	15.7%	15.7%	15.9%	19.3%
	再生資源の量 (参考)	19,610t	18,033t	17,830t	23,573t

＜令和 6 年度（2024 年度）の成果指標の数値状況について＞

令和 9 年度（計画期間最終年度）の各目標値については、令和 5 年（2023 年）3 月に改定した「第 4 次豊中市一般廃棄物処理基本計画」の数値

※A 豊中市伊丹市クリーンランドにおいて焼却処理されるごみの年度合計量

※B 豊中市伊丹市クリーンランドへの家庭系ごみ搬入量（再生資源を除く）の 1 人 1 日当たり量

※C 豊中市伊丹市クリーンランドへの事業系ごみ搬入量（再生資源を除く）の年度合計量

※D 豊中市伊丹市クリーンランドへ搬入する家庭系及び事業系の可燃ごみに、家庭系排出実態調査における食品ロスの割合（17.74％）と、事業系排出実態調査における食品ロスの割合（16.68％）をそれぞれ乗じて算出した推計量（食品ロス割合等の詳細については p.16 を参照）

※E 資源化量（集団回収を含む、民間の自主的取組みは除く）÷総排出量（再生資源を含む）

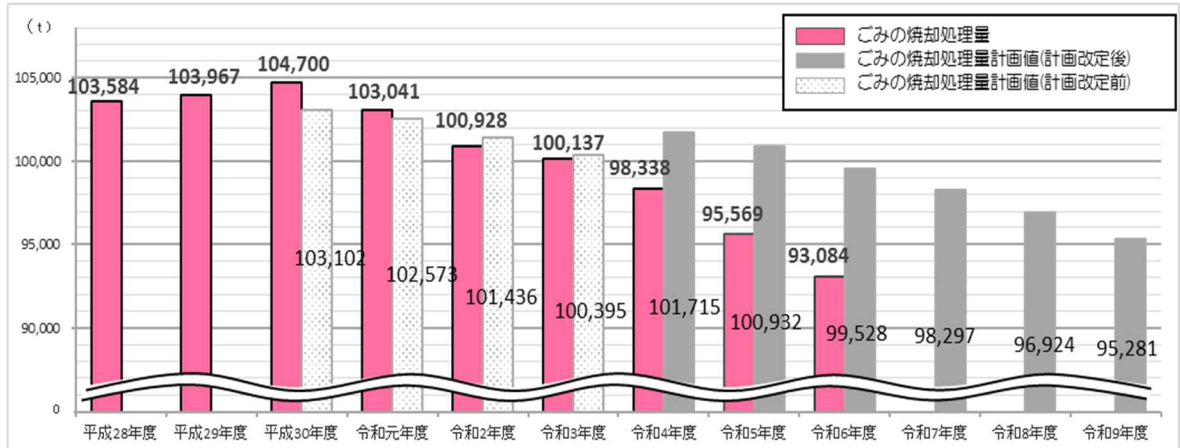
(1) ごみの焼却処理量

減量目標

最終目標値
95,281 トン
(計画改定前は 95,368 トン)

ごみの焼却処理量

令和5年度 2,485トン減 令和6年度
95,569トン → 93,084トン



・ごみの焼却処理量・・・豊中市伊丹市クリーンランドにおいて焼却処理されるごみの年度合計量

(2) 家庭系ごみ1人1日当たり量・家庭系ごみ量

個別目標

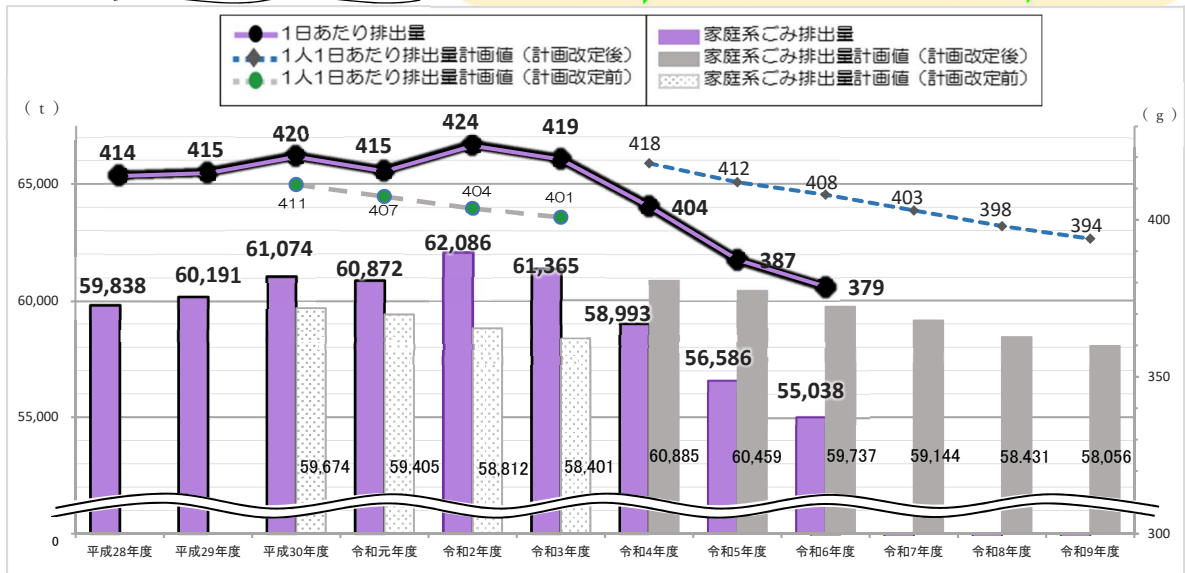
最終目標値
394 グラム
(計画改定前は 386 グラム)

家庭系ごみ1人1日当たり量

令和5年度 8グラム減 令和6年度
387グラム → 379グラム

家庭系ごみ量

令和5年度 1,548トン減 令和6年度
56,586トン → 55,038トン



・家庭系ごみ1人1日当たり量・・・豊中市伊丹市クリーンランドへの家庭系ごみ(可燃・不燃・粗大ごみ)搬入量(再生資源を除く)の市民1人1日当たり量
・家庭系ごみ量・・・豊中市伊丹市クリーンランドへの家庭系ごみ(可燃・不燃・粗大ごみ)搬入量(再生資源を除く)の年度合計量

主な取り組み

- ◆子ども服リユース・臨時ごみリユース
- ◆ごみ分別アプリ、豊中市公式LINE、とよなか環境 TV 内での分別案内、周知啓発
- ◆再生資源集団回収報奨金交付事業
- ◆再生資源買取市事業
- ◆廃棄物減量等推進員制度による地域に密着したごみの減量、再資源化の推進

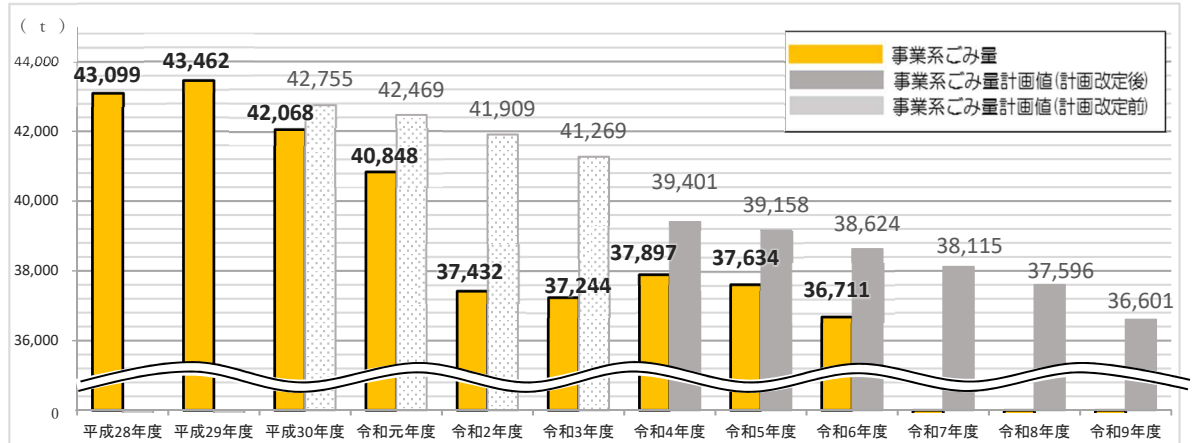
(3) 事業系ごみ量

個別目標

最終目標値
36,601トン
(計画改定前は38,191トン)

事業系ごみ量

令和5年度 37,634トン
923トン減
令和6年度 36,711トン



・事業系ごみ排出量・・・豊中市伊丹市クリーンランドへの事業系ごみ搬入量(再生資源を除く)の年度合計量

主な取り組み

- ◆事業系一般廃棄物管理責任者研修会の実施
- ◆多量排出事業所へのごみ減量指導
- ◆ごみ処理施設での搬入物展開検査
- ◆豊中エコショップ制度
- ◆事業者向けごみ減量周知啓発「リニュース」の発行

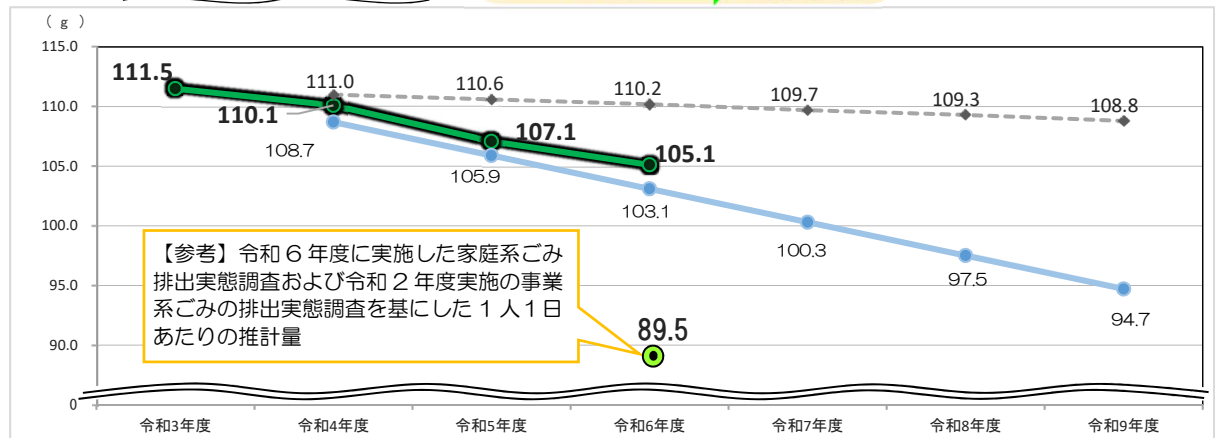
(4) 食品ロス1人1日当たり量

個別目標

最終目標値
108.8グラム(必達目標)
94.7グラム(高位目標)

食品ロス1人1日当たり量

令和5年度 107.1グラム
2グラム減
令和6年度 105.1グラム



・食品ロス1人1日当たり量・・・家庭系及び事業系ごみの実績値に、排出実態調査における食品ロスの組成割合を乗じて算出した推計量

主な取り組み

- ◆フードドライブ活動の促進
- ◆食品関連事業者における食品ロス削減の取組みの促進
- ◆子ども向け食品ロス削減に向けた普及啓発冊子の発行、市ホームページ、とよなか環境TVでの周知動画配信

(参考指標) リサイクル率

リサイクル率

令和5年度 15.7%
0.2ポイント増加
令和6年度 15.9%

今後の方向性

社会全体で徹底した資源循環の促進が求められるなか、今後も循環型社会への移行に向けた普及啓発、適正な分別・排出の取組みを推進していきます。

第3章 廃棄物減量等推進審議会評価と市民意見等 それに対する市の考え方

第2章のごみの減量の進捗状況をふまえ、「審議会評価」、「主な市民意見」(※1)、「主な事業者意見」(※2)、「市の考え方」を記載しています。(※1、※2については巻末 p.17 参照)

(1) ごみの焼却処理量

審議会評価

- 当年度の目標値を大きく上回っています。市民・事業者によるごみ減量に向けた取組み、及び物価の高騰による個人消費の抑制、さらにはこれまでのごみ減量施策による排出抑制により減少したと考えられます。今後も継続して家庭系・事業系ごみの減量に向け、効果的な施策に取り組む必要があります。

主な市民意見（抜粋）

- 個人や店舗等で様々のごみ減量の取組みが行われていることが数値で確認できて良かった。これからもより積極的に続けていけるように、具体的な取組み例などの情報を分かりやすく発信してほしい。
- いつも思うのは、分別したことに意味があるのか。入り口は別でも中が同じになっている飲食店のごみ箱や、燃えるごみには油を注いで燃やしているからプラが入っているほうが良く燃えるなどの噂がある。事実をしっかりと伝えることが、行動につながると思う。
- このような情報を見ることでもっと自分にできる事があるのではないかと考えるいい機会になるのもっといろんな情報を周知してほしいと思う。
- 豊中市が進めているごみ減量の、目的、重要性をもっと市民に伝えてほしい。

市の考え方

物価高騰による消費抑制の影響もありますが、社会全体における環境意識については定着しつつあり、市民・事業者・行政が一体となっておみ減量に向けた取組みを継続していることにより、順調にごみ減量していると考えます。

今後も社会情勢によるごみの排出量への影響を注視しながら、発生抑制を第一とし、効果的なごみ減量普及啓発事業を推進します。

なお啓発にあたっては、分別やリサイクルの流れおよびその必要性も含め、わかりやすく具体的に情報を発信することで、環境についてより理解を深め、市民や事業者がさらに積極的にごみ減量を促進していくことができるよう取組みを進めていきます。

(2) 家庭系ごみ 1 人 1 日当たり量・家庭系ごみ量

審議会評価

- 家庭系ごみの排出量については、環境意識の向上、物価高騰による個人消費の抑制により減少したと考えられます。今後社会情勢がどのように変化しても、継続してごみを減らす、再資源化を促進するといった取組みを実施する必要があります。

主な市民意見（抜粋）

- ごみ減少の取組みがかなり進んでいると感じた。物価高騰で、買う前に立ち止まる機会が増えたことが追い風になっているのではないかなと思う。これからはごみを減らす、分別の努力は続けていきたい。
- スーパーなどにリサイクルボックスの設置があると、買い物のついでにペットボトルなどを持って行くことができるので、これからはそういう場所を増やして欲しい。子ども服のリユースも少し遠方だったりするのでもっと身近で定期的にそういう機会があればいいなと感じる。
- エコバッグ、ペットボトル等のリサイクルも、定着して来たように思う。今後は、物を購入する時点でよく考え、ロスにならないか、リサイクル等も頭に入れ、購入判断する事を定着させていくよう心掛けていきたいと思う。
- 物価高の影響で購入する量が減っている事もありますが、必要な量だけ購入して無駄買いをしなければごみは減る傾向にあるように思う。
- フードロスについては、物価高騰による消費低減により、しばらくは減少するように思う。しかし、使い捨て容器など資源ごみは、昨今のテイクアウト、出前配達が増えたため増えると思うので、分別を啓蒙する必要がある。
- 豊中市の取組みをイベントブースや LINE、広報などでもっとアピールして、より一層意識を高めていく必要があると思う。

市の考え方

社会情勢によるごみの排出量への影響もありますが、今後も発生抑制を第一とし、どうしても出てしまうごみや不用品についてはリユースやリサイクルの取組みを継続して推進します。事業者と連携したペットボトルの水平リサイクル、家庭から出る廃食油の SAF（※）化など、資源循環に向けた取組みを推進します。

また、ごみ減量に向けた啓発にあたっては、わかりやすく具体的に情報を発信することや、アンケート等の活用によって、適宜施策に関する効果測定を行い、市民ニーズを的確に捉えて反映させることで、ごみの減量についてさらに関心を抱いてもらえるような取組みを推進します。

（※） Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料

(3) 事業系ごみ量

審議会評価

- 社会情勢の影響に加え、ごみの発生抑制や適正処理の意識が浸透していることから減少したものと考えられます。今後も事業者のごみ減量に向けた取組みを推進する必要があります。

主な市民・事業者意見（抜粋）

- 減少傾向になっているが、減少幅がそこまで大きくないため、引き続き、日々のごみ減量・リサイクル適正処理等の意識向上を行いたいと感じた。
- 経済環境の要因があるものの、順調に減量が進捗されており、各家庭、各事業者の成果であるが、持続的努力が今後必要。
- ICTが発達し、紙のごみは減ってきているが、食品ロスについては、工夫が必要である。
- ここ数年、色々な店舗で再生資源の活用、フードロス削減等の取組みが行われている事がわかる。我々も日々努力しようと思う。
- 店舗での過剰包装やそのリサイクルへの取り組みが足りないと思う。
- 各事業所の取組みにより削減が進んでいるが、より削減ができるよう、アイデアを募りつつ削減していきたい。
- 急に減らすのは難しいですが、諦めず、少しでも減らせたことを自信にして少しずつ続けていくことに意味があるのだと感じた。
- 物価高騰や、景気の低迷もあるかもしれないが、ごみの削減が目標以上に推進されていることは皆の活動が着実に実を結んでいると思う。

市の考え方

今後も社会情勢の変化に伴った事業系ごみの動向を注視するとともに、ごみ減量に向けた周知啓発を行い、さらなる意識の定着を図ります。また、適正処理や先進事例の紹介等による情報発信、多量排出事業者の立ち入り調査及び処理施設でのごみの搬入物検査、豊中エコショップ制度等の運営を継続するとともにその事業の効果検証を行い、より効果的な取組みを、行政と事業者が一体となり推進していきます。

(4) 食品ロス 1人1日当たり量

審議会評価

- 家庭系ごみ量及び事業系ごみ量に紐づいて増減する推計量であり、ごみの減少により、相対的に食品ロス量が減少しています。「食べ切り」「使い切り」という意識の向上や、物価高騰による個人消費の抑制が食品ロス割合の減少につながったと考えられます。今後も継続して食品ロスの削減に向けた取組みを推進していく必要があります。

主な市民意見（抜粋）

- 食品、食材を残さないために少量パックなどで売られているのは助かります。もっといろんな品目で広がればいいと思う。
- 食品は食べ切れる量しか買わないが、スーパーなどでの売れ残りの廃棄はもったいないと思う。賞味期限が迫って安くして売り切れるようにしている物を進んで買うようにしている。
- スーパーにフードドライブの箱があるのは知っていたが、その食品がどのように活用されたか、箱の側に置いてもらえたらより参加意欲が沸くと思う。
- フードロス削減は、できるところは努力したいが、全てに協力できず、食品によってはどうしても賞味期限が長い製品でないと困ることもある。
- クリスマスケーキや恵方巻きの予約が当たり前になった時も最初は面倒くさいと感じたが、それで食品ロスが減るなら大した手間ではないと思った。このように私たち消費者が意識を少し変えるだけでごみは減っていくと思う。

市の考え方

今後もごみの減量及びリサイクルの推進に向け、手つかずのまま廃棄される食品の有効活用や、食品提供者や消費者に「食べ切る」・「使い切る」という意識を醸成するため、「てまえどりキャンペーン」や「3010 運動」等によって、食品ロスを効果的に削減するための普及啓発活動を継続していきます。

食品ロス対策については、ごみの減量はもとより、食べ物を無駄にしないことを大前提とし、意識変容を促す普及啓発の実施、また、生産から消費までを全体の流れとして捉え、市民、事業者、関係団体等の多様な主体と連携した取組みについて継続して実施します。

さらに、市内の事業者と協力したフードドライブをはじめ、食品ロス削減に向けたハンドブックや年長児を対象とした絵本等の配布によって、世代を問わず環境問題について考えてもらえるような取組みを今後も実施していきます。

第4章 モニター指標

(1) 市民・事業者・行政の協働による循環型社会の構築

1) 環境学習・教育の充実

※計画改定後の追加項目については番号に下線あり

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和5年度実績)	令和6年度実績
1	全公立の小学校・義務教育学校、認定こども園への環境学習実施件数（件）	幼少期からの環境学習によるごみの減量を図る	公立小学校・義務教育学校全校 39件	公立小学校・義務教育学校 実施件数 38件
			公立小学校 実施件数 38件	
			公立認定こども園全園 24件	公立認定こども園 実施件数 18件
			公立認定こども園 実施件数 14件	
<u>2</u>	ごみ処理施設との協働による環境学習・見学会実施件数（件）	幼少期からの環境学習によるごみの減量を図る	環境学習・見学会実施件数 7件	6件
			環境学習・見学会実施件数 6件	
3	廃棄物減量等推進員の環境学習への参加人数（人）	地域における環境学習へ参加	参加者数 前年度比増	11人
			参加者数 23人	
<u>4</u>	とよなか環境 TV の年間動画配信数（本）	多様な環境問題について、分かりやすく伝えることで興味を引き出す	動画配信数 10本	11本
			動画配信数 15本	
5	認定こども園等年長児と保護者への食品ロスに係る絵本等の配布人数（人）	幼少期からの環境学習によるごみの減量を図る	認定こども園等年長児 全児童	3,418人
			配布人数 3,529人	

2) プラスチックごみの削減に向けた取組み

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和5年度実績)	令和6年度実績
<u>6</u>	豊中エコショップ認定店舗へのプラスチックごみ削減ステッカーの配布店舗数（件）	事業者のプラスチック削減の取組みを進める	ステッカー配布店舗数 10件	12件
			ステッカー配布店舗数 8件	
<u>7</u>	市有施設の給水機の給水量に基づく500mlペットボトル換算数（推計）	ペットボトルの削減に努める	500ml ペットボトル換算数(推計) 前年度比増	160,432本
			500ml ペットボトル換算数(推計) 123,210本	

3) 周辺自治体や事業者との連携

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和5年度実績)	令和6年度実績
8	豊中エコショップ認定店舗の新規認定件数（件）	エコな取組みを実施する事業者の増加とその店舗を利用する市民への周知	新規認定件数 20件 新規認定件数 21件	22件
9	周辺自治体との連携を図る会議への参加回数（回）及び連携事業数（事業）	周辺自治体と連携した広域的な施策実施を図る	会議等参加数 5回 事業数 1事業 会議等参加数 6回 事業数 2事業	会議等参加数 6回 事業数 2事業

4) 3Rに取り組む市民団体やグループ活動等との連携

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和5年度実績)	令和6年度実績
10	廃棄物減量等推進員活動参加人数（人）	廃棄物減量等推進員の活動への参加	活動参加人数 前年度比増 活動参加人数 158人	180人

(2) 家庭系ごみ減量等に関する取組み

1) 地域での3R活動の活性化

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和5年度実績)	令和6年度実績
10 (再掲)	廃棄物減量等推進員活動参加人数（人）	廃棄物減量等推進員の活動への参加	活動参加人数 前年度比増 活動参加人数 158人	180人
11	出前講座等開催回数（回）	排出者のごみと再生資源の分け方、出し方の知識を高める	出前講座、地域説明会の開催数 5回 出前講座、地域説明会の開催数 18回	14回

2) 2R（発生抑制・再使用）の促進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和5年度実績)	令和6年度実績
7 (再掲)	市有施設の給水機の給水量に基づく500mlペットボトル換算数（推計）	ペットボトルの削減に努める	500ml ペットボトル換算数(推計) 前年度比増 500ml ペットボトル換算数(推計) 123, 210本	160,432本
12	リユースイベント開催数（回）	ごみとなるものを再使用することによりごみの減量を図る	リユースイベント開催数 2回 リユースイベント開催数 6回	12回
13	市との協定に基づいた事業者のリユース促進事業利用件数（件）	リユース活動の促進	事業者サービス利用件数 前年度比増 事業者サービス利用件数 29, 876件	29, 918件

3) 再生資源集団回収の推進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和5年度実績)	令和6年度実績
14	新規登録団体数（団体）	地域での3R活動の活性化を図る	新規登録団体数 10団体 新規登録団体数 7団体	4団体

4) 多様な再生資源回収方法の構築

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和5年度実績)	令和6年度実績
15	市との協定に基づいた事業者のリサイクル促進事業利用者数（人）	リサイクル事業の促進	リサイクル事業利用者数 2,000人 リサイクル事業利用者数 2,036人	1645人
16	堆肥化に係わる講座の受講者数（人）	生ごみの堆肥化を促進することによる可燃ごみの減量	講座の受講者数 160人 講座の受講者数 133人	93人

5) 適切な分別排出の浸透

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和5年度実績)	令和6年度実績
11 (再掲)	出前講座等開催回数（回）	排出者のごみと再生資源の分け方、出し方の知識を高める	出前講座、地域説明会の開催数 5回 出前講座、地域説明会の開催数 18回	14回
17	市公式LINEのチャットボット利用回数（回）	適切な分別排出方法の調べ方の市民への周知	利用回数 50,000回 利用回数 74,489回	94,692回

6) 家庭系ごみの有料化の検討及びごみ処理手数料の適正化（指標なし）

(3) 事業系ごみ減量等に関する取組み

1) ごみ減量に向けた支援

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和5年度実績)	令和6年度実績
18	事業者研修会開催数（回）	事業者への研修を行い、ごみの減量を促す	研修会開催数 1回 研修会開催数 1回	1回
19	事業者用生ごみ処理機導入補助金事業補助件数（件）	事業系ごみの減量を図る	事業補助件数 5件 事業補助件数 2件	0件
20	リニュースの発行回数（回）	事業者にごみ減量を促す情報を発信	リニュースの発行回数 2回 リニュースの発行回数 2回	2回

2) 多量排出事業所におけるごみ減量の促進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：令和5年度実績）	令和6年度実績
21	立ち入り調査件数（件）	対象事業所の適切な分別と再生資源の増加を図る	立ち入り調査件数 60件 立ち入り調査件数 60件	60件

3) 搬入物調査の活用

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：令和5年度実績）	令和6年度実績
22	搬入物展開調査回数（回）	焼却施設等に搬入されるごみを適正に搬入するよう促す	搬入物展開調査回数 16回 搬入物展開調査回数 13回	12回
23	搬入物目視確認回数（回）	焼却施設等に搬入されるごみを適正に搬入するよう促す	搬入物目視確認回数 90回 搬入物目視確認回数 91回	105回

4) 中小規模事業者における分別排出の促進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：令和5年度実績）	令和6年度実績
20 (再掲)	リニュースの発行回数（回）	事業者にごみ減量を促す情報を発信	リニュースの発行回数 2回 リニュースの発行回数 2回	2回
24	再生資源共同回収事業及び機密文書溶解参加事業所数（件）	事業者の紙ごみの減量を促す	再生資源共同回収事業及び機密文書溶解参加事業所数 前年度比増 参加事業所数 109件	104件

5) 食品廃棄物リサイクル等の推進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：令和5年度実績）	令和6年度実績
19 (再掲)	事業者用生ごみ処理機導入補助金事業補助件数（件）	事業系ごみの減量を図る	事業補助件数 5件 事業補助件数 2件	0件

6) イベントにおける3Rの促進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：令和5年度実績）	令和6年度実績
25	分別促進用具貸出利用回数（回）	イベント等におけるごみの減量を促す	貸出利用回数 8回 貸出利用回数 30回	23回

(4) 廃棄物の適正処理の推進

1) 時代の要請に応じた分別収集体制の推進

番号	指標 (単位)	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和5年度実績)	令和6年度実績
26	リサイクル率 (%)	回収拠点を増やすことなどにより、リサイクルを促進する	当該年度の目標値 リサイクル率 15.7%	15.9%
27	委託業者調整会議開催数 (回)	委託業者と連携し、ごみの減量を図る	委託業者調整会議開催数 12回 委託業者調整会議開催数 12回	12回
28	新規介護事業者への周知件数 (件)	高齢者等のごみ出し困難者への支援として、特別収集事業を周知し、ごみの分別排出を図る	新規介護全事業者 新規介護全事業者 (実績なし)	実績なし

2) モバイルバッテリーなどの危険物に関する市民啓発の強化

番号	指標 (単位)	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和5年度実績)	令和6年度実績
29	危険物に関する情報発信回数 (回)	危険物に関する情報の市民への周知	とよなか環境 TV での発信回数 1回 とよなか環境 TV での発信回数 1回	1回

3) 安定した中間処理施設等の運用

番号	指標 (単位)	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和5年度実績)	令和6年度実績
2 (再掲)	ごみ処理施設との協働による環境学習・見学会実施件数 (件)	幼少期からの環境学習によるごみの減量を図る	環境学習・見学会実施件数 7件 環境学習・見学会実施件数 6件	6件
30	焼却処理量 (t)	ごみ処理施設における可燃ごみの削減	当該年度の目標値 焼却処理量 95,569t	93,084t
31	最終処分量 (t)	ごみの減量による最終処分場の延命化を図る	最終処分量 前年度比減 最終処分量 12,067t	12,485t

(5) 食品ロス削減に向けた普及啓発 【食品ロス削減推進計画】

1) 環境学習・教育の充実

番号	指標 (単位)	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和5年度実績)	令和6年度実績
5 (再掲)	認定こども園等年長児と保護者への食品ロスに係る絵本等の配布人数 (人)	幼少期からの環境学習によるごみの減量を図る	認定こども園等年長児 全児童 配布人数 3,529人	3,418人

2) 食品ロス削減方法の発信

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：令和5年度実績）	令和6年度実績
32	食品ロス削減方法等の発信回数（回）	食材の長持ちする保存方法やエコレシビなど、食品ロス削減方法の市民への周知	とよなか環境 TV での発信回数 1 回 とよなか環境 TV での発信回数 1 回	1 回

（6）市民・事業者等と連携した取組みの推進 【食品ロス削減推進計画】

1) 食品関連事業者における食品ロス削減の取組みの推進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：令和5年度実績）	令和6年度実績
33	豊中エコショップ認定店舗への食品ロス削減ステッカーの配布店舗（件）	事業者の食品ロス削減に関する取組みの推進	ステッカー配布店舗数 10 件 ステッカー配布店舗数 8 件	11 件
34	市民・事業者・豊中市が連携したキャンペーンの実施（回）	食品ロスが発生しない売り方・買い方の実践と市民への周知	キャンペーンの実施 1 回 キャンペーンの実施 1 回	1 回

2) フードドライブ活動の促進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：令和5年度実績）	令和6年度実績
35	各主体の自主的なフードドライブ開催件数（件）	市内でのフードドライブの浸透	豊中市が把握する自主的なフードドライブ開催件数 7 件 豊中市が把握する自主的なフードドライブ開催件数 8 件	9 件

3) 各主体との連携強化

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：令和5年度実績）	令和6年度実績
9 (再掲)	周辺自治体との連携を図る会議への参加回数（回）及び連携事業数（事業）	周辺自治体と連携した広域的な施策実施を図る	会議等参加数 5 回 事業数 1 事業 会議等参加数 6 回 事業数 2 事業	会議等参加数 6 回 事業数 2 事業

(7) 循環利用の推進 【食品ロス削減推進計画関連】

1) 食品廃棄物の堆肥化

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和5年度実績)	令和6年度実績
16 (再掲)	堆肥化に係わる講座の受講者数（人）	生ごみの堆肥化を促進することによる可燃ごみの減量	講座の受講者数 160人 ----- 講座の受講者数 133人	93人
36	生ごみ・剪定枝の堆肥化及び堆肥の活用（t）	市から発生する食品廃棄物の資源化を図る	とよびーの配布・頒布量 120t ----- とよびーの配布・頒布量 119t	118t

2) 食品リサイクルの促進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和5年度実績)	令和6年度実績
19 (再掲)	事業者用生ごみ処理機導入補助金事業補助件数（件）	事業系ごみの減量を図る	事業補助件数 5件 ----- 事業補助件数 2件	0件

(参考)食品ロス 1 人 1 日あたり量について

令和元年度（2019 年度）及び令和 6 年度（2024 年度）

家庭系ごみ排出実態調査結果(重量比) より

(R1)

(R6)

食品ロス割合（家庭系ごみ）	17.74%	13.39%
----------------------	---------------	---------------

令和 2 年度（2020 年度）事業系ごみ排出実態調査結果(重量比)より

(R2)

(R7)

食品ロス割合（事業系ごみ）	16.68%	実施予定
----------------------	---------------	------

【食品ロス 1 人 1 日当たり量（R1 基準）】

ごみ搬入量に食品ロス割合を乗じ、365 日（閏年の年度は 366 日）及び毎年度の推計人口で除した値

- ・ 家庭系可燃ごみ搬入量 52,189.34 t × R1 食品ロス割合 17.74% = 9,258.39 t
 - ・ 事業系可燃ごみ搬入量 36,069.99 t × R2 食品ロス割合 16.68% = 6,016.47 t
- 15,274.86t

$$\rightarrow 15,274.86(t) \div 365(\text{日}) \div 398,145(\text{人}) = 0.00010510...(t) \div \boxed{105.1(g)}$$

内 家庭系 63.7 (g)
事業系 41.4 (g)

【食品ロス 1 人 1 日当たり量（R6 基準）】

ごみ搬入量に食品ロス割合を乗じ、365 日（閏年の年度は 366 日）及び毎年度の推計人口で除した値

- ・ 家庭系可燃ごみ搬入量 52,189.34 t × R6 食品ロス割合 13.39% = 6,988.15 t
 - ・ 事業系可燃ごみ搬入量 36,069.99 t × R2 食品ロス割合 16.68% = 6,016.47 t
- 13,004.62t

$$\rightarrow 13,004.62(t) \div 365(\text{日}) \div 398,145(\text{人}) = 0.00008948...(t) \div \boxed{89.5(g)}$$

内 家庭系 48.1 (g)
事業系 41.4 (g)

(参考)主な市民・事業者意見について

(※1)「主な市民意見」	…令和 7 年（2025 年）9 月公表の「令和 6 年度（2024 年度）事業等報告書速報版」を市ホームページ、市公式 SNS 等で周知し、市民アンケートを実施。（期間：9 月 12 日～9 月 30 日、回答者数：910 名）
(※2)「主な事業者意見」	…令和 7 年（2025 年）に 10 月 14 日から市ホームページ、多量排出事業者等に周知した事業系一般廃棄物管理責任者研修会にて「令和 6 年度（2024 年度）事業等報告書 速報版」の内容を掲載し、事業者向けアンケートを実施。（期間：10 月 14 日～10 月 31 日までのもの抜粋、回答数：54 件）

市民アンケート集計結果

※割合は小数第二位を四捨五入しているため100%にならないところがある

「令和6年度(2024年度)事業等報告書 速報版」の表現等について			使い捨て製品の使用控え等について		
分かりやすい		812 89.2%	以前(5年以上前)から取り組んでいる		710 78.0%
分かりにくい		98 10.8%	数年前(1年～4年前)から取り組んでいる		127 14.0%
分かりにくい理由 ※内容に応じて右記に分類	色・レイアウト	14 14.3%	最近(1年以内)から取り組んでいる		27 3.0%
	文字が多い・小さい	24 24.5%	今後取り組もうと思っている		42 4.6%
	グラフ・数値	9 9.2%	取り組むつもりは無い		4 0.4%
	ボリューム・情報量	17 17.3%	食品ロスを減らす取組みについて		
	全体的に	18 18.4%	以前(5年以上前)から取り組んでいる		580 63.7%
	単語・文章表現	7 7.1%	数年前(1～4年前)から取り組んでいる		161 17.7%
	計画・目標の内容	7 7.1%	最近(1年以内)から取り組んでいる		73 8.0%
	その他	2 2.0%	今後取り組もうと思っている		83 9.1%
			取り組むつもりは無い		13 1.4%
「令和6年度(2024年度)事業等報告書 速報版」の内容について、関心を持ったもの(複数回答可)			食品ロスを減らす取組みについて		
ごみの焼却処理量		405 16.7%	以前(5年以上前)から取り組んでいる		810 89.0%
家庭系ごみ1人1日当たり量・家庭系ごみ量		653 26.9%	数年前(1年～4年前)から取り組んでいる		64 7.0%
事業系ごみ量		91 3.7%	最近(1年以内)から取り組んでいる		18 2.0%
食品ロス1人1日当たり量		494 20.3%	今後取り組もうと思っている		17 1.9%
リサイクル率(参考指標)		266 11.0%	取り組むつもりは無い		1 0.1%
子ども服をリユースしています		237 9.8%	ごみの分別について		
一般廃棄物管理責任者研修会を実施しました		13 0.5%	以前(5年以上前)から取り組んでいる		810 89.0%
家庭系ごみ排出実態調査の結果		238 9.8%	数年前(1年～4年前)から取り組んでいる		64 7.0%
環境美化功労者に感謝状の贈呈		22 0.9%	最近(1年以内)から取り組んでいる		18 2.0%
憲法記念日市長表彰		8 0.3%	今後取り組もうと思っている		17 1.9%
その他		2 0.1%	取り組むつもりは無い		1 0.1%
豊中エコショップについて			リサイクルショップ、フリマアプリ等の利用について		
利用したことがある		233 25.6%	以前(5年以上前)から利用している		378 41.5%
利用したことはないが知っている		297 32.6%	数年前(1年～4年前)から利用している		117 12.9%
知らない		380 41.8%	最近(1年以内)から利用している		33 3.6%
フードドライブについて			今後利用しようと思っている		258 28.4%
参加・利用したことがある		112 12.3%	今後利用するつもりは無い		124 13.6%
参加・利用したことはないが知っている		477 52.4%	量販店は環境に配慮した取組みを行っていると思うか		
知らない		321 35.3%	そう思う		656 72.1%
YouTube「とよなか環境TV」について			どちらともいえない		170 18.7%
観たことがある		54 5.9%	そう思わない		84 9.2%
観たことはないが知っている		169 18.6%	飲食店は環境に配慮した取組みを行っていると思うか		
知らない		687 75.5%	そう思う		467 51.3%
市有施設等に設置されている給水機について			どちらともいえない		307 33.7%
利用したことがある		181 19.9%	そう思わない		136 14.9%
利用したことはないが知っている		356 39.1%	小売店は環境に配慮した取組みを行っていると思うか		
知らない		373 41.0%	そう思う		522 57.4%
			どちらともいえない		267 29.3%
			そう思わない		121 13.3%

令和6年度（2024年度）

ハッピー（8%）ごみ減量^{げんりやう}プラン～第4次豊中市ごみ減量計画～
事業等報告書 確定版

発行日：令和7年（2025年） 月

編集・発行：豊中市環境部減量計画課

〒561-0891 豊中市走井2丁目5番5号

電話：06-6858-2279

ファクス：06-6843-3501